

平成 19 年度各種委員会報告

1. 教育委員会

委員長 近 藤 哲

1. 卒後教育セミナーについて（資料 1）

- 1) 第 71 回は「卒前卒後教育・研修教育で外科をどう教えどう学ぶか」のテーマで昨春第 107 回定期学術集會に並行して、門田守人前会長のお世話で大阪市にて開催した（参加者 1,473 名）。
- 2) 第 72 回は「ビデオによる縫合・吻合のすべて」のテーマで昨秋第 69 回日本臨床外科学会総会の草野満夫前会長にお世話いただき横浜市にて開催した（参加者 885 名）。
- 3) 平成 20 年度の実施計画としては、資料 1 の如く第 73 回を 5 月 17 日に兼松隆之会長のお世話で開催する。
- 4) 第 74 回は今秋、東京都において、第 70 回日本臨床外科学会総会の田尻孝会長にお世話いただき開催する予定である。

（資料 1）

第 73 回卒後教育セミナー

日 時：平成 20 年 5 月 17 日（土）13:30～16:30

第 108 回日本外科学会定期学術集會 3 日目

場 所：ホテルニュー長崎（鳳凰閣）

テーマ：ここまできた再生医学・再建外科

世話人：兼松 隆之（日本外科学会会長，長崎大学移植・消化器外科）

企画：平田 公一（日本外科学会教育委員，札幌医科大学第 1 外科）

開会の辞：近藤 哲（日本外科学会教育委員長，北海道大学腫瘍外科）

I. 外科領域の再生医学

- (1) 幹細胞生物学の血管医学への応用（13:35～14:00）

座 長：笹嶋 唯博（旭川医科大学第 1 外科）

講 師：浅原 孝之（東海大学基盤診療学系再生医療科）

- (2) 心不全治療と自己細胞移植（14:00～14:25）

座 長：高本 眞一（東京大学心臓外科）

講 師：澤 芳樹（大阪大学心臓血管外科）

- (3) 組織幹細胞を用いた肝再生医療の可能性（14:25～14:50）

座 長：浅原 利正（広島大学先進医療開発科学講座外科）

講 師：平田 公一（札幌医科大学外科腫瘍学・消化器外科学）

II. 再建外科の up date

- (4) 気道再建（14:50～15:15）

座 長：和田 洋巳（坂崎診療所）

講 師：長田 博昭（聖マリアンナ医科大学呼吸器外科）

(5) 腹部大動脈瘤手術における再建およびステントグラフト治療 (15:15~15:40)

座長：佐野 俊二 (岡山大学心臓血管外科)

講師：倉谷 徹 (大阪大学心臓血管外科)

(6) 肝内胆管に対する胆道再建術 (15:40~16:05)

座長：野浪 敏明 (愛知医科大学消化器外科)

講師：柳野 正人 (名古屋大学腫瘍外科)

(7) 下部直腸癌に対する内肛門括約筋切除を伴う肛門温存手術 (16:05~16:30)

座長：坂井 義治 (京都大学消化管外科)

講師：寺本 龍生 (東邦大学消化器外科)

卒後教育セミナーは、本学会外科専門医制度規則施行規定により指導医の選定申請 (春季は定期学術集会に参加しなかった場合のみ) 及び更新申請、外科専門医の移行認定申請及び更新申請 (10 単位) の際の研究実績に加算することができる旨、周知方お願いしたい。

2. 映像による私の手術手技—フィルム (ビデオ) ライブラリーについて (資料 2)

平成 19 年度の「映像による私の手術手技」は資料 2 のように決定した。また、今年度から標準手術シリーズと最新手術シリーズに分けることとし、標準手術シリーズは従来通り 5 名を選定、最新手術シリーズは学術集会のビデオ演題から 10 演題を選定することとした。制作補助費は従来の一人 50 万円を 30 万円に削減し、最新手術シリーズは再編集や音声入れなども考慮して一人 10 万円の補助とし、合計 250 万円の維持とした。

本年度は、全作品 (158 本) の DVD を 1 本 4,200 円で頒布し、287 本の申込があった。

(資料 2)

映像による私の手術手技

- 1) レシピエントの浅大腿静脈を用いた生体肝移植右葉グラフトの中肝静脈再建
里見 進 (東北大学先進外科)
- 2) 甲状腺癌の低侵襲性小切開手術
高見 博 (帝京大学外科)
- 3) 下部直腸癌に対する括約筋切除を伴う肛門温存手術
寺本 龍生 (東邦大学外科)
- 4) 食道切除後の血管吻合付加結腸再建術
名川 弘一 (東京大学腫瘍外科)
- 5) 肺動脈を指標とした肺区域切除術
和田 洋巳 (京都大学名誉教授)

3. 生涯教育セミナーについて

- 1) 平成 19 年度は「診療ガイドラインをどう生かすか」のテーマで開催した。全国 7 地区で合計 753 名が受講され順調に実施されている。
- 2) 平成 20 年度のテーマは「外科領域におけるリスク・マネージメント」である。

4. 二重発表について（資料3）

二重発表の基準について討議し、資料3のように改訂した。

従来の基準では、外科系学会以外での発表は二重発表にしないとしていたが、外科系学会の定義が困難なことがあった。元々論文とは異なり、記録性や検索性に劣り、厳密にチェックすることは不可能に近い。また、本会の目的として定款に記載されている「外科学の進歩普及」の観点からすると、進歩は originality を重視するものであるが、普及は二重発表を必ずしも規制するのではなく、良い発表は何回でも行って広めた方が良いという考え方もある。従来通り特殊発表は問題としないが、一般演題での二重発表は好ましくはないものの、学術集會会長の裁量で発表可能な場合もあることとした。ただし、その際は演者が演題登録時に過去の二重発表の可能性のある演題を自己申告するよう、演題応募画面に記入欄を作成して発表年月・演題名・学会名を自己申告することとした。この情報も参考にして査読者は評価を行い、会長が採否を決定するものとした。

（資料3）

日本外科学会定期学術集會における二重発表の取扱い

<二重発表の定義>

既に発表されたものと実質的に同じ内容の発表。

特殊発表(講演, シンポジウム, パネルディスカッション, ワークショップなど)では問題とならない。一般演題では原則として好ましくないが、既発表であることを明記すれば学術集會会長の裁量で発表可能なこともある。

<対策>

- ①二重発表の可能性があれば、既発表演題について学会・研究会名と演題名、発表年月を演者が演題登録時に自己申告する（演題登録時の記入欄を作成する）。
 - ②演題の採否は会長に一任する。この際①の申告内容は originality, 独創性についての評価対象に含まれる。特にプレナリー演題, 学会賞演題などの採用にあたっては重要視される。
- ※虚偽の自己申告が判明した場合は学会誌に公表し、それ以降の発表の一時停止もありうる。

5. 卒後教育における「Cadaver を用いた技術修練」

Cadaver を用いた技術修練の必要性について、外科関連学会協議会に申し送った。

6. 研修医外科教育について

外科基本手術手技に関する指導要綱を DVD で作成することを検討中である。

2. 邦文誌編集委員会

委員長 田 林 暁 一

邦文誌（日本外科学会雑誌）について

本誌の充実をめざして邦文誌編集委員会を3カ月に1度開催し、第109巻抄録号まで会員に配付した。

邦文誌の内容

1. 会員より原稿を募る

日本外科学会雑誌 第109巻 臨時増刊号(3)

症例報告, 研究速報, 総説, 随筆, 提言, 学会出席者の感想文, 私の療養体験, 会員の近況報告, 私の作品 (写真, 絵, 短歌, 俳句など)

2. 原稿依頼

a. 特集…編集委員により企画する依頼原稿

(第98巻第8号より特集のテーマの立案に対し本委員会で審議の上, 担当委員制度を設定した)

b. 外科学会会員のための企画…会員に役立つような内容を企画する依頼原稿

毎号, 「医療訴訟事例」を掲載している

c. Editorial…編集委員が執筆

d. 手術の tips and pitfalls…図を中心とした依頼原稿

e. 学会報告

f. 本学会の特別講演者, 教育講演者などに依頼

g. 卒後教育セミナーの講演要旨 (第48回卒後教育セミナーより掲載)

3. 掲載料金

a. 総説, 症例報告 5万円

b. 研究速報 3万円

c. 随筆, 提言, 学会出席者の感想文, 私の療養体験, 会員の近況報告, 私の作品 (写真, 絵, 短歌, 俳句など) 無料. 枚数超過の場合は1万円

d. 学会・研究会案内 1/3頁 2万円

4. 依頼原稿執筆料

会員は5万円, 非会員は10万円. (特集の前文や Editorial を執筆する編集委員は無料)

なお, 本誌の Quality を向上させるため英文抄録の Check を第99巻第1号より Ms. シンシア氏に1編 2,250円にて依頼している.

3. 英文誌編集委員会

委員長 前原 喜彦

英文誌 (Surgery Today) について

平成19年度中に947編 (前年比↑17編) の投稿原稿があった. 同年発行の第37巻には235編 (前年比↑4編) が掲載され, 平成19年度の採用率は24.8% (前年比±0) であった.

昨年度より投稿から採否決定までの期間が平均2ヶ月 (前年比1ヶ月短縮) へ, また掲載までの期間は平均11ヶ月 (前年比2ヶ月短縮) となっている.

編集委員による Review 執筆などの努力によりインパクトファクターも徐々に上昇し, 最新のものでは0.698 (前年比↑0.22) となっている.

引用文献について

最新のデータでは, 2002年から2007年までの掲載された論文1,267編に対し被引用論文数は599編 (47.3%) であった. 被引用論文率は, Review の72.7% が最も高く, 続いて Original が53.3% となっている.

Case Report については, 引用されなかった全論文669編に対して374編 (57%) であった.

2002年から2008年本誌掲載論文の著者の国別件数では, わが国が一番多く960件あった. しかしながら, 掲載論文数に対する引用は一番低い0.33との結果となっている.

これらの結果から, 更なるインパクトファクターの上昇を目指すには, ① Review・Original の掲載数の

増加, ②被引用回数の増加が必須である.

代議員の先生方には, 投稿のお願いと本誌を引用いただくよう是非お願いしたい.

また, 二重投稿と判断された論文があったので本誌に Editorial および Erratum として掲載. さらに Guidelines to Authors を改定した.

平成 18 年度研究助成委員会が廃止され, 本委員会が研究奨励賞の授賞者選定を引き継ぎ行うこととなった. そして本年度授賞者 (賞金 50 万) を下記の如く決定させていただいた.

最後に投稿原稿数の増加とともに編集委員並びに代議員の負担も年々大きくなっており, この場を借りて厚くお礼申し上げたい.

第 14 回研究奨励賞授賞者 5 名

小林美奈子 (三重大学大学院医学系研究科 生命医科学専攻病態修復医学講座 先端的外科技術開発学)

Randomized Clinical Trial Comparing Intravenous Antimicrobial Prophylaxis Alone with Oral and Intravenous Antimicrobial Prophylaxis for the Prevention of a Surgical Site Infection in Colorectal Cancer Surgery 37: 383—388

西 宏之 (大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科)

Preoperative Assessment of Congestive Liver Dysfunction Using Technetium-99m Galactosyl Human Serum Albumin Liver Scintigraphy in Patients with Severe Valvular Heart Disease 37:564—569

佐々木 剛 (東北大学大学院消化器外科学分野)

Adenovirus Expressing Mutant p27^{kip1} Enhanced Apoptosis and Inhibited the Growth of Xenografted Human Breast Cancer 37: 1073—1082

沢 秀博 (神戸大学大学院医学系研究科 消化器外科学)

Role of Toll-Like Receptor 4 in the Pathophysiology of Severe Acute Pancreatitis in Mice 37:867—873

赤本伸太郎 (香川大学消化器外科)

Neutrophil Elastase Inhibitor (Sivelestat) Preserves Antitumor Immunity and Reduces the Inflammatory Mediators Associated with Major Surgery 37: 359—365

掲載原稿種別表

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|
| 年次 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 |
| 巻数 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 投稿数 | 119 | 102 | 142 | 164 | 131 | 151 | 179 | 197 | 208 | 275 | 268 | 322 |
| 掲載数 | 95 | 89 | 83 | 76 | 87 | 119 | 116 | 119 | 120 | 107 | 206 | 222 |
| 採用率 (%) | 79.8 | 87.3 | 58.5 | 46.3 | 66.4 | 78.8 | 64.8 | 60.4 | 57.7 | 38.9 | 76.9 | 68.9 |
| Editorial | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Review | 5 | 4 | 12 | 4 | 6 | 5 | 7 | 6 | 1 | 7 | 1 | 5 |
| Original | 75 | 77 | 50 | 44 | 47 | 71 | 59 | 67 | 67 | 59 | 107 | 106 |
| Case Report | 0 | 0 | 12 | 19 | 25 | 33 | 44 | 38 | 47 | 37 | 89 | 93 |
| Short Communication | 10 | 5 | 7 | 9 | 6 | 6 | 2 | 7 | 5 | 3 | 7 | 8 |
| How to do it | 3 | 3 | 1 | 0 | 3 | 4 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 10 |
| Others | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Impact Factor | | | | | | | 0.21 | 0.223 | 0.188 | 0.163 | 0.118 | |

| | | | | | |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 年次 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 |
| 投稿数 | 667 | 623 | 566 | 930 | 947 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 脳神経 | 19 | 19 | 22 | 19 | 19 |
| 内分泌 (含乳腺) | 16 | 16 | 15 | 16 | 16 |
| 心 | 14 | 26 | 21 | 23 | 24 |
| 肺 | 16 | 35 | 24 | 21 | 30 |
| 血管 | 116 | 94 | 86 | 99 | 119 |
| 消化器 | 4 | 3 | 8 | 0 | 1 |
| 移植 | 7 | 13 | 6 | 7 | 11 |
| 小児外科 | 25 | 32 | 34 | 46 | 14 |
| 一般その他 | 217 | 238 | 216 | 231 | 235 |
| 掲載数 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 年次 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 |
| 巻数 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
| 投稿数 | 339 | 419 | 443 | 429 | 438 | 424 | 509 | 607 | 667 | 623 | 566 | 930 | 947 |
| 掲載数 | 211 | 212 | 245 | 281 | 271 | 239 | 247 | 243 | 214 | 238 | 216 | 231 | 235 |
| 採用率 (%) | 62.2 | 50.5 | 55.3 | 65.5 | 61.9 | 56.4 | 48.5 | 40.0 | 32.1 | 43.9 | 38.2 | 24.8 | 24.8 |
| Editorial | 0 | 0 | 7 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Review | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | 4 | 2 | 3 | 0 | 8 | 13 | 5 | 10 |
| Original | 101 | 82 | 120 | 102 | 100 | 97 | 86 | 88 | 76 | 102 | 102 | 102 | 75 |
| Case Report | 88 | 99 | 97 | 152 | 145 | 129 | 142 | 146 | 134 | 113 | 91 | 109 | 137 |
| Short Communication | 5 | 9 | 6 | 9 | 2 | 6 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| How to do it | 12 | 7 | 10 | 11 | 14 | 7 | 11 | 4 | 2 | 13 | 8 | 10 | 10 |
| Others | 0 | 12 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 |
| Impact Factor | 0.171 | 0.209 | 0.233 | 0.303 | 0.379 | 0.356 | 0.480 | 0.501 | 0.528 | 0.553 | 0.478 | 0.698 | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|
| 投稿数内訳 | | | | | | | | | | | | | |
| Original | 145 | 171 | 149 | 166 | 196 | 222 | 174 | 146 | 232 | 264 | | | |
| Others | 284 | 267 | 275 | 343 | 411 | 445 | 449 | 420 | 671 | 683 | | | |

国別投稿数

| 国名 | 2007 | | 2006 | | 国名 | 2007 | | 2006 | |
|----------------------------|------|--------|------|--------|--|------------|----------|------------|----------|
| | 総数 | 採択率(%) | 総数 | 採択率(%) | | 総数 | 採択率(%) | 総数 | 採択率(%) |
| Japan | 361 | 38.1 | 303 | 53.1 | Singapore | 1 | 100.0 | 6 | 16.7 |
| Turkey | 161 | 10.4 | 229 | 10.6 | Denmark | 1 | 0.0 | 2 | 50.0 |
| Italy | 60 | 8.9 | 55 | 11.1 | Jordan | 1 | 0.0 | 2 | 0.0 |
| Taiwan - Republic of China | 48 | 4.5 | 38 | 18.9 | Czech Republic | 1 | | 1 | 0.0 |
| India | 40 | 6.1 | 33 | 12.5 | Kuwait | 1 | | 1 | 0.0 |
| China | 39 | 8.6 | 33 | 12.5 | Slovakia | 1 | 0.0 | 1 | 0.0 |
| Greece | 38 | 8.3 | 45 | 26.2 | Austria | 1 | 0.0 | | |
| United States | 23 | 28.6 | 25 | 32.0 | Egypt | 1 | 0.0 | | |
| Korea, Republic of | 20 | 17.6 | 22 | 47.6 | Korea, Democratic People's Republic of | 1 | 0.0 | | |
| United Kingdom | 18 | 13.3 | 26 | 15.4 | Moldova | 1 | 0.0 | | |
| Spain | 17 | 13.3 | 6 | 0.0 | Pakistan | 1 | 0.0 | | |
| Germany | 12 | 30.0 | 15 | 7.1 | Portugal | 1 | 0.0 | | |
| Brazil | 12 | 0.0 | 9 | 22.2 | Slovenia | 1 | | | |
| Iran, Islamic Republic of | 11 | 10.0 | 4 | 0.0 | United Arab Emirates | 1 | | | |
| France | 9 | 11.1 | 7 | 42.9 | Belgium | | | 3 | 0.0 |
| Serbia And Montenegro | 9 | 11.1 | 2 | 50.0 | Hong Kong | | | 2 | 50.0 |
| Croatia | 6 | 20.0 | 5 | 40.0 | Ireland | | | 2 | 0.0 |
| Chile | 6 | 40.0 | 3 | 66.7 | Morocco | | | 2 | 0.0 |
| Israel | 6 | 16.7 | 2 | 0.0 | Australia | | | 1 | 100.0 |
| Netherlands | 5 | 0.0 | 7 | 14.3 | Ecuador | | | 1 | 0.0 |
| Nepal | 5 | 20.0 | 6 | 50.0 | Finland | | | 1 | 0.0 |
| Thailand | 5 | 0.0 | 6 | 16.7 | Lebanon | | | 1 | 0.0 |
| Poland | 5 | 40.0 | 4 | 0.0 | Lithuania | | | 1 | |
| Malaysia | 4 | 0.0 | | | Philippines | | | 1 | 0.0 |
| Mexico | 3 | 0.0 | 3 | 0.0 | Russian Federation | | | 1 | 0.0 |
| Jamaica | 3 | 0.0 | | | South Africa | | | 1 | 0.0 |
| Bulgaria | 2 | 50.0 | | | Sri Lanka | | | 1 | 0.0 |
| Hungary | 2 | 0.0 | | | Switzerland | | | 1 | 0.0 |
| Tunisia | 2 | 0.0 | | | Venezuela | | | 1 | 0.0 |
| Saudi Arabia | 1 | 0.0 | 6 | 20.0 | Total | 947 | — | 927 | — |

月別投稿数の推移

